

南 郷 里 通 信

3月号



撮影 / 清水康雄

厳冬にのぞむ春のおとずれ

湖北の雪景色の中で春を待ち望む。1月下旬の大雪ではあちこちでそんな期待のため息も聞こえてきました。

梅は厳しい冬に咲くことから、激しい状況でも笑顔を絶やさない人としてたとえられ、論語の“歳寒三友”（さいかんのさんゆう）では友としたい人とされています。また梅の実（うめぼし）は落ちて芽を出すことから、生命のしるしとされ奈良時代から縁起物としてお祝い事に用いられてきました。

どちらのたとも清廉潔白な梅の姿を彷彿とさせます。写真は加納町の白山神社に見る梅の花。明るい春の喜びをここに感じることができます。

大盛況！子育て広場「はぐみんぐ」

子どもたちとおうちの人の笑顔がはじける「はぐみんぐ」では、季節に合わせた多種多様な遊びを取り入れ、愛情をたっぷり感じられる時間を提供しています。1月16日（火）は「親子リトミック」、2月6日（火）は「豆まき」と「親子ふれあい運動あそび」で寒さを吹き飛ばして心も体も元気いっぱい！お子さんの成長と一緒に見守ることができる素敵な時間となりました。



遊んで食べて！南郷里っこニコニコ広場開催

1月27日（土）、地域での子どもの居場所づくりの一環でさまざまな世代間交流を図りながら、大勢で囲む食事や遊びを経験できるニコニコ広場が開かれました。今回は集団遊びを中心に、広いホールで全身を使っのびのび遊び笑顔が随所に見られました。そのあとはお楽しみのカレータイム。サイドメニューのさつまいもケーキも好評で、お代わりを楽しみにしてくれる子どもたちの姿がありました。



子ども学び座「まきずしをつくろう！」

2月3日（土）、節分の日に子どもたちが恵方巻づくりに挑戦しました。講師は七条町まかしてや隊のみなさん。28名の子どもたちが苦戦しながらも教わったとおりに丁寧に具材を巻き、完成した巻きずしは持ち帰り家庭で楽しんでもらいました。



市民協働チャンネル「こほくらす」vol.5が南郷里からオンエアされました

1月27日（土）、湖北の魅力を長浜市の楽しい話題や地域の活動をみんなで撮って紹介する市民協働チャンネル“こほくらす”が、南郷里で撮影、まちセンから生配信されました。南郷里の魅力や課題・解決に向けた取り組みを紹介していただきました。アーカイブで閲覧できるのでぜひご覧ください。

アーカイブはこちら



消防団だより

3/1 (金) ~3/7 (木)

春の火災予防運動習慣です

冬から春にかけて季節が変わるこの時季は、空気が乾燥し火災が起こりやすい気候が続きます。

市民や事業所の皆様は、常に防火意識を持って、火災の発生を未然に防止するよう努めていただき、万一火災が発生した場合には、被害を最小限にとどめ、生命と財産を火災から守りましょう。



5 BUNDAN

火を消して 不安を消して つなぐ未来

長浜市消防出初式

1月6日(土)に出初式を行いました。本年度は、能登半島地震に緊急消防援助隊が派遣されたため、屋外式典は中止し、表彰式のみ実施されました。



おしらせ

3/2 (土) 南郷里地域づくり推進大会開催

地域内活動の情報発信と共有化を図るとともに、地域内外の先進的な活動を学び知ることで、充実した地域づくりに生かすことを目的とする推進大会を開催します。

講演は、虎姫子ども体験キャンパス実行委員会 河村好子氏。

○ところ 南郷里まちづくりセンター 多目的ホール

○とき 3月2日(土) 9時30分~11時30分

○対象 南郷里地域の方、自治会長・福祉委員各種団体

自治振興部会

フォトコンテスト

4/21まで応募受付!

どなたでも応募できます。

ぜひお気軽にご応募ください!



←詳細はこちらから



広報部会

申し込み 62-0287 (南郷里地域づくり協議会)

集楽まちセン紹介

“集まって楽しむ”
まちセン活動を紹介します

06

そば打ちの奥深さにハマる



1月だというのに、まちセンの調理室はそば打ちを習う人たちの熱気が漂っています。今日は月に1回の「そば打ちサークル」の開催日。市内各地から受講者が集まって、そば打ちが始まります。

そば粉は地元産の伊吹の在来種を使用。このそば粉560グラムとつなぎ粉140グラムで700グラム(=7人分)の“二八そば”が完成する。みなさん大事そうに抱えてお持ち帰りされ、お昼に家族といただく方もいらっしゃるようでした。

メンバーは現在14名、ほとんどが男性ですが、女性2人のお姿も。長浜ではそば打ちサークルはおそらくここにしかないということで、遠く西浅井町からも来られています。

講師はこの道四半世紀という平居源太郎さん。この講座が

できたのが10年ほど前、最初から受講されている方が5~6名おられるので、「みんなで互いに教えあって楽しくやっている」とのこと。「10年やってもベテランではない。毎回仕上がりが違う。だから続く」とも。

今後は「難しい“十割そば”にもチャレンジしたい」とのこと。また、「『そば打ち体験してみたい』という人がちらほらおられるが、調理室には現在調理台が6台しかなく、2人で1台を使っている」。そのため、サークルを2部制にすることも検討中とか。受講してみたい方、今後の募集情報を逃さないで! (取材/樋口幸永)



(右) 講師の平居源太郎さん

(左上) 水を加えてから一気に仕上げる。さまざまな工程に蕎麦づくりの奥深さを感じられる。

(上) 完成した二八そば

そば打ちサークル

活動日 毎月第2土曜日

9時半~11時半